

6月のえんだより

2025年6月1日発行 小さな森こども園

子どもたちが「かたつむり」や「かえるのうた」を歌う声が園内に響き渡り、季節の移り変わりを感じます。梅雨のじめじめした時期ですが、雨が降っても「お外に行こう！」と言いかっぱを着て、じめじめを吹き飛ばすように元気いっぱい遊んでいるちいもりっこたちです！

暑かったり、肌寒かったりと寒暖差のある時期ですが、体調管理には気を付けて元気に過ごして欲しいと思います。

6月の予定

2日（月） 身体測定
7日（土） 親子遠足

※28日に40周年記念の会があり、職員が参加するため
18：30分までのお迎えをお願い致します。申し訳ありませんがご協力をお願い致します。

年長行事予定

4日（水）HIPHOP
5日（木）サッカー
13日（金）英語で遊ぼう
18日（水）HIPHOP
19日（木）サッカー
20日（金）英語で遊ぼう
28日（土）春季サッカー大会

6月生まれのおともだち

ほし… なし
あり… 22日
かえる… なし
りす… 23日
うさぎ… 26日、30日
きりん… 6日

おねがい

お子さんがお友だちからもらったものや、園の物をお家に持ち帰って来た時は、何も言わずにこっそりと回収して園の方に持って来て下さるようお願い致します！

家族としての役割を与える

●大人の手伝いで身に付く力

子どもは、大人の生活や仕事を手伝うことにより、大人のしていることを真似して、出来ることを増やししながら、見通しある行動や判断力やさまざまな認識力を身につけていきます。さらに大人と一緒にいる生活や家事労働に関する目標をもった共同の活動は、子どもに家族の一員としての自覚や自信を持たせます。

子どもは、「自分も家族の一員として役に立ち、また役割を果たし、家族に認められている」という自分の存在意義（自己肯定感）を、家族に見守られながら少しずつ認識していくのです。自律性や自立性は、そうした家族との関係の中でいっそう育ちやすくなっていきます。

●手先の器用さや創造力を育てる

生活や仕事への参加は、人間の特徴の一つである「ものを変化させて生産していく『て』」の働きと創造性を育てる」という、生産労働の基礎的力をともなっていくから非常に重要です。たとえば、料理などでは、調理器具の使い方から、切る、こねる、つぶす、混ぜるなど、頭で考えただけでは分からない事を、実際に手で作業することによって、つぎの手順が見えてきます。

また、算数の基礎となる大きさ、長さ、高さ、重さなど、形、量、順序、直観的把握による1～5までの数の概念、1対1対応などは、実際に見て、物を扱って、変化させて、実感としてわかることを積み重ねていくことと、それをことばとしてシンボル化していくことによって理解していくものです。

たとえ数的な処理方法を覚えたり、ことばでそれだけもっともらしいことが言えても、実際の場面で行動に移せて役立てることが出来なければ何の意味もありません。

●大人を真似していろんなことを身につけよう

大人の活動に参加する手伝いは、子どもにとって工夫や発見の連続です。一人では、あるいは子どもたちだけでは難しいことも、大人に教えてもらいながら手伝うことは出来ます。家事労働の手伝い活動を、楽しい生活の一部として習慣化していくと、一日の生活リズムや流れを理解し、見通しある行動が出来るようになります。

お手伝いの効用

自律性が育つ
できる事とできない事を
判断して行なう



自立性が育つ
家族の一員として自覚や
自信が育つ



手の働きと認識力が育つ
道具の使用性が高まる



家族のコミュニケーション
が高まる



相馬範子著 生活リズムでいきいき脳を育てるより一部抜粋